

笑顔

熊本市高齢者支援センター ささえりあ帯山

熊本市中央区保田窪1丁目1-33 第2大田ビル1階

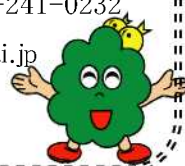
第31号

電話:096-241-0230 FAX:096-241-0232

平成27年4月

E-mail:sasaeriaobiyaama@kyouninkai.jp

http://www.kyouninkai.jp/obiyaama/



平成26年度
託麻原・帯山・帯山
西校区におきまし
て、3校区共同で「**地域
支え合い “共
同” 体制づくり
推進協議会**」を
立ち上げました
(校区社協主催)。この推進協議会
ではこの地域包括ケアシステムの
構築に向けて、75歳以上の一人
暮らしの高齢者の方々や民生委員
さん方のニーズ調査、圏域内の社
会資源調査、加えて先進地の視察

地域ケア共同推進会議兼学習会

平成26年度「地域支え合い」共同体制づくり事業

研修を実施しました。その調査報告と共に、今後の3校区共同の方向性と方針を考えていくための「**地域ケア共同推進会議兼学習会**」を3月2日(月)、熊本学園大学で開催しました。当日は民生委員をはじめ自治会役員、通所系サービス事業所、施設系・住宅系事業所、主任介護支援専門員、熊本市保健子ども課約100名近くの方々にご参加頂き、「居場所づくりと担い手づくり」に焦点を当てグループディスカッションを行いました。

「家族介護者教室」開催中!

平成27年1月28日(水)

帯山校区地域コミュニティセンターにて、第5回目を開催致しました。今回は帯山校区在住の**司法書士 光木隆志先生**より、**高齢者の財産管理**や最近何かと耳にする**成年後見制度**について、分かりやすくお話しをして頂きました。実際に問題を抱えての参加者も多く、講和終了後には皆さん積極的に質問をされていました。



「認知症介護家族のつどい」

今年度最後の“つどい”には、ご両親や配偶者を実際に介護しているご家族の方2名にご参加頂きました。金銭管理や身の回りの事が一人で十分に出来ないなど、家族による介護が日常的に必要となっているケースでした。介護をしていると戸惑いや不安、怒りや孤独感など否定的な感情を抱くこともあると思いますが、この“つどい”では**介護家族同士ならではの本音の話**ができます。周りの体験談を聞き、自分の介護について話すことで、心の空気の入替えができるのではないのでしょうか。今後も気持ち新たに介護への勇気が湧いてくるような“認知症介護家族のつどい”になればと思っています。



平成27年3月26日(木)

「家族介護者教室」開催中!

民生委員のニーズ -3校区全体-



次回は平成27年6月を予定しております!

季節は春。一年のうちで一番穏やかな季節が巡って参りました。新年度がスタートし、それぞれ新たな目標に向かって活動を開始されている頃ではないでしょうか? 昨年、熊本学園大学にて開催された「日本とドイツの国際フォーラム」に参加しました。福祉先進地のドイツでも、介護保険スタート時には認知症の方のニーズは全く考えられておらず、八年後の大改革の際に、ネットワークを作って支援していく体制を作ったとの事。中でも、ボランティアの養成に力を入れ積極的に活用できているとの事でした。また、認知症に限らず「孤立」予防のために、地域の中に日常的に顔を合わせる場、交流の場が必要であるとの話もありました。ささえりあ帯山職員一同におきまして、昨年度以上に地域の様々な活動に参加させて頂きながら、地域の方々の交流を深め、安心して住み続けられる地域づくりの為に皆様と一緒に取り組んでいきたいと思っております。

藤田 紀子



★ 編集後記 ★

今回は、事例検討に入る前に「認知症の方の行動における法的責任について」をテーマとしたレクチャーを保田窪法律事務所 弁護士 田上裕輝先生にして頂きました。その後、熊本学園大学社会福祉学部准教授 黒木先生司会進行のもと、フォレスト熊本 介護支援専門員の金田貴也氏より「認知機能の低下によって、自己の所有物と他人の所有物の区別がつかなくなってしまった認知症の人を、地域でどう支えていくのか」をテーマとした事例をもとに、医師をはじめとする医療関係者や民生委員、地域の方、ケアマネジャー、事業所の方々を交えディスカッションを行いました。地域で出来ることは？医療で出来ることは？介護サービスで出来ること



は？参加された皆さんそれぞれの立場から、今出来る意見をたくさん出して頂きました。「このような方は地域で見守っていき、大きなトラブルにならないようにする必要がある」、「地域住民には認知症に対する十分な理解が必要だ」、「他人事ではないと思った」等々皆さんより多くの前向きなご意見が集まり「事例検討の時間がもっとほしい」という主催者側としてうれしい悲鳴も頂きました。参加していただいた皆様には、改めて御礼申し上げます。今後地域でこのような方々を支援していく為に何が出来るか。個人を支える地域づくりを改めて身近に考えていく有意義な会になりました。

④初期消火訓練と、簡易担架の作り方を実演、体験。



⑤フォレスト熊本、江南病院の理学療法士より、車椅子での避難方法を実演



①防災倉庫の見学と耐震性貯水槽の説明。



②起震車体験。



③AEDを用いた救急救命の方法と実演。



当日はあいにくの雨空でしたが、小さいお子さまから高齢者の方々まで幅広い年齢層の方、約二百名程の参加がありました。防災に関する五つのブースが設置され、各町内でグループを作り、一つずつ体験をしていくという流れで行われていました。各ブースでは熱心に質問される姿も多く見られ、託麻原校区の方々の防災意識の高さを感じる事が出来ました。

託麻原校区合同防災訓練

二月二十一日(日)



在宅療養サポートサービス

検討委員会開催！

第3回 3月11日(水)託麻台リハビリテーション病院にて開催。



今回は、入院している方が在宅復帰4日前に在宅生活を安心して送るために、また円滑な退院支援を行うため、様々なサポートが必要なのか、役割としてどのようなサービスが期待されているか等について話し合いました。



今年の十二月より、三回にわたって圏域内の中核病院の医師・ソーシャルワーカー、訪問看護師、主任介護支援専門員、リハビリスタッフ、そしてささえりあ帯山で話し合い、お互いの役割や知識、情報の共有ができました。また顔の見える関係づくりもでき、これからの圏域での在宅復帰や退院支援を円滑に行うための良い検討会になったと感じました。

川上サロン 3月6日(金)

今回は、70歳以上の独居老人の方へのお弁当作りと配食がありました。民生委員さんや福祉推進委員さん、地域のボランティアの方々が協力しておかずを作り、それをフォレスト熊本やささえりあ帯山のスタッフも協力して、お弁当に詰め込みます。全部で約100個程。とても労力のいる作業ですが、皆さん楽しそうに準備されていました。その後は、お弁当を持ってご自宅訪問です。一人ひとりに声をかけながら回って行きます。受け取る方は「お弁当とっても美味しいから楽しみにしていたよ。」



「朝から何も食わずに待ってたの～」と嬉しそうな声で出迎えてくれます。その笑顔を見ると、支援された方もとても嬉しそうな顔をされていらっしゃいました。最後はみんなでホッと一息。作った側もプチサロンでした♪



次回は花見を企画していますとの事！